

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2000-115296(P2000-115296A)

【公開日】平成12年4月21日(2000.4.21)

【出願番号】特願平10-300312

【国際特許分類第7版】

H 0 4 M 1/00

H 0 4 M 1/725

【F I】

H 0 4 M 1/00 B

H 0 4 M 1/00 S

H 0 4 M 1/72 B

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月30日(2004.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

親機と少なくとも1つ以上の子機とで構成されるコードレス電話機であって、親機は、あらかじめ相手先の氏名と電話番号などの情報を記憶する親機用電話帳と、電話回線を通じて送られてくる発信者番号を解読する着信情報解析手段と、前記着信情報解析手段により解読された発信者番号を子機に送信する送信手段と、前記親機用電話帳の電話帳データを前記送信手段を介して子機に転送する電話帳転送手段とを備え、子機は、あらかじめ相手先の氏名と電話番号などの情報を記憶する子機用電話帳と、転送された親機の前記電話帳データを格納する親機用電話帳格納手段と、親機から受信した前記発信者番号と前記子機用電話帳のデータ及び前記親機用電話帳格納手段のデータとを照合する電話番号照合手段とを備え、前記電話番号照合手段による照合結果に応じて呼出音を選択して鳴り分け動作を行なうことを特徴としたコードレス電話機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記問題点を解決するために本発明は、親機と少なくとも1つ以上の子機とで構成されるコードレス電話機であって、親機は、あらかじめ相手先の氏名と電話番号などの情報を記憶する親機用電話帳と、電話回線を通じて送られてくる発信者番号を解読する着信情報解析手段と、前記着信情報解析手段により解読された発信者番号を子機に送信する送信手段と、前記親機用電話帳の電話帳データを前記送信手段を介して子機に転送する電話帳転送手段とを備え、子機は、あらかじめ相手先の氏名と電話番号などの情報を記憶する子機用電話帳と、転送された親機の前記電話帳データを格納する親機用電話帳格納手段と、親機から受信した前記発信者番号と前記子機用電話帳のデータ及び前記親機用電話帳格納手段のデータとを照合する電話番号照合手段とを備え、前記電話番号照合手段による照合結果に応じて呼出音を選択して鳴り分け動作を行なうことを特徴としたコードレス電話機。

果に応じて呼出音を選択して鳴り分け動作を行なうものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

したがって、本発明によれば、あらかじめ電話帳に登録してある電話番号が子機の電話帳か親機の電話帳かその位置によって呼出音を変えることができるという効果が得られる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項1に記載の発明は、親機と少なくとも1つ以上の子機とで構成されるコードレス電話機であって、親機は、あらかじめ相手先の氏名と電話番号などの情報を記憶する親機用電話帳と、電話回線を通じて送られてくる発信者番号を解読する着信情報解析手段と、前記着信情報解析手段により解読された発信者番号を子機に送信する送信手段と、前記親機用電話帳の電話帳データを前記送信手段を介して子機に転送する電話帳転送手段とを備え、子機は、あらかじめ相手先の氏名と電話番号などの情報を記憶する子機用電話帳と、転送された親機の前記電話帳データを格納する親機用電話帳格納手段と、親機から受信した前記発信者番号と前記子機用電話帳のデータ及び前記親機用電話帳格納手段のデータとを照合する電話番号照合手段とを備え、前記電話番号照合手段による照合結果に応じて呼出音を選択して鳴り分け動作を行なうこととしたコードレス電話機であり、登録してある電話番号が子機の電話帳か親機の電話帳かその位置によって呼出音を変えることができるという作用を有する。